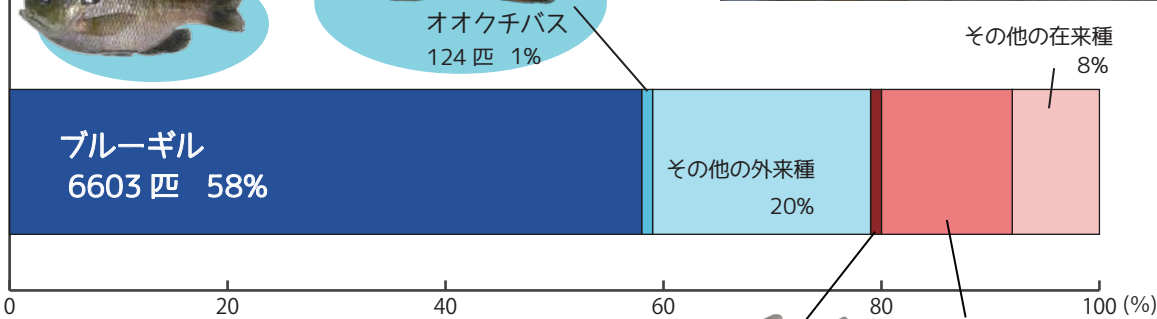
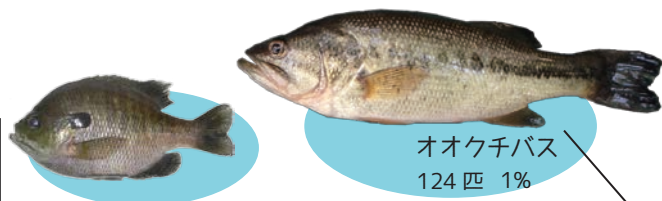


29 年ぶりに池底出現！弁天池かいぼり

2年前には果たされなかった弁天池のかいぼりが、ついに実現した。11月10日から水抜きが始まり、11月21～23日にはのべ230人のボランティアによって生きものの捕獲が行われた。その後も排水状況を見ながら捕獲が続けられている。今号では弁天池がいぼりの様子を報告する。

やはり多かった外来種

弁天池かいぼりでは19種11459匹の生きもの（魚類、エビ類、カメ類）が捕獲された。このうち外来種は16種9057匹（79%）、在来種は9種2402匹（21%）だった。この割合は2年前のお茶の水池・ポート池かいぼりの捕獲結果とほぼ同じであり、かいぼり前の井の頭池では外来種が優占していたことが改めてわかった。



その他の在来種

ギンブナ	16 匹
ナマズ	19 匹
テナガエビ	716 匹
スジエビ	103 匹
ニホンイシガメ	2 匹
ニホンスッポン	4 匹



その他の外来種

コイ	273 匹
ヒメダカ	5 匹
ゲンゴロウブナ	465 匹
ギギ	46 匹
ヌマチチブ	572 匹
アメリカザリガニ	31 匹
シナヌマエビ	914 匹
ミシシippアカミミガメ	2 匹
クサガメ	19 匹

※2016年1月31日現在までの捕獲数



モツゴ 137 匹 1%



トウヨシノボリ 1405 匹 12%



▲ 湧出箇所がいくつも見つかった

◀ 上流から川のように流れる湧水。弁天橋からよく見える。

近年、武蔵野市や三鷹市では雨水浸透施設を設置するなど、地下水保全の取組を進めている。いまでも地下水位が回復すれば、井の頭池の湧水がもつと増えるかもしれない。

今回のかいぼりで水を抜いたところ、右岸側を中心に池底のいたる所から湧水が出ているのが確認された。現在でも湧水が幾筋もの流れになっている様子を見ることが出来る。

もともと井の頭池は豊かな湧水で満たされた池だったが、周辺で地下水の汲み上げ量が増えたことなどから地下水位が低下し、1960年代には池の水がなくなってしまう。それ以来、井戸から揚水して池を維持している。現在でも長雨の後には湧水で一時的に水位が上がったり、池水が澄むことがあるが、日常的な湧水の染み出しは確認されていなかった。

こんこんと湧き出る湧水



29年分の様々なゴミたち

2年前のお茶の水池・

ボート池かいぼりでは、約230台もの自転車が引き上げられて話題になった。弁天池でも自転車の台数が注目されたが、結果は30台ほどであった。多かったゴミは飲料水の容器やス



ナック菓子の包装紙だ。中には昭和の中頃の懐かしいビンや洗剤の袋、かつてコイに餌やりが行われていた頃の麩の袋なども見つかった。今回拾ったゴミの一部はかいぼりステーション【かいぼり屋】にて展示している。

弁天池は今

弁天池の水抜きは、弁財天お堂が傾いたりしないように毎日調査をしながら慎重に行われた。排水後は弁天池の護岸の補強が行われている。現在も干し上げは続いており、池に水が戻るのは3月中旬頃の予定である。

いけいけ！かいぼり隊

イケメン イケガール
～池男 & 池女、投網に挑戦！の巻～

11月21日(土)23日にかけて行われた弁天池の魚捕りでは、投網師が活躍した。一見、簡単そうに見えるが、そんなことは全くない。実は網自体が5kgもある。持ち上げるだけでも一苦労なのに、さらにはそれをきれいに投げ入れるのだから、熟練した技が必要である。初めは池の中で魚の追い込みサポートを行っていたかいぼり隊だが、投網に興味津々。ついには投網師に弟子入りを志願し、休憩時間には陸上で練習を始めたのだ。そしてなんと、その日のうちに実践デビューまで果たした隊員も！



▲きれいに広がった投網

前述の通り、簡単ではない投網打ちだが、隊員たちはそれぞれ手応えをつかんだようだ。今後投網を使用するときには大活躍してくれそうだ。

Topics

大好評！池底ツアー



12月12日から1月11日までの毎週土・日・祝日(年末年始を除く)に、「いかしら池底ツアー」を開催しました。水のない弁天池に入って池底を歩き、湧水の観察をしたり、泥の感触を楽しんでもらうこのツアー、のべ154名の方にご参加いただきました。

親子を中心に、大人1名やご夫婦での参加も多く、日によっては大人だけのツアーになった時もありました。子どもたちは服がどろどろになるの気にせず池底を歩き回ったり、湧水の湧き出し地点に手をつ込んだりと全身で池底を楽しんでいました。大人向けの解説もあるので、大人も十分に楽しめる内容となっています。



「手で塞いでも水が出てくる！なんで!？」



弁天様を下から見上げる

いかしら池底ツアー～お茶の水池編～

- ◆2月6日(土)から3月6日まで毎週土日祝日
- ◆13:00 から1時間程度
- ◆定員 15名(先着、事前申込不要)
- ◆持ち物:長靴(長めのものがオススメ。多少泥に沈みます)汚れてもいい服装で
- ◆参加費:保険代 30円

集合場所は「野口雨情碑」だよ！



今号の一枚



投網師に向かって一列に～魚の追い込み～



弁天池付近にあった「かいぼりステーション(かいぼり屋)」は、野外ステーションにお引越しい！3月14日まで毎日9時～16時にオープンしています。

今回の「かいぼり27」はまだ続きます。1月からお茶の水池・ボート池のかいぼりが始まり、23日・24日は魚捕りを行いました(こちらの結果は次号で！)。

井の頭池に水が戻るのは3月中旬頃を予定しています。

かいぼり屋で待ってるよ★

